

第3章 学校制度

先述のとおり、シンガポールの教育体系における一般的な進路は、初等教育（Primary School 6年間）、中等教育（Secondary School 4～5年間）、大学準備教育（Junior College 2年間）から大学（University 3～4年間）というコースと中等教育から専門教育（Polytechnic 3年間）というコースである。本章では、各教育段階について紹介する。

第1節 初等教育

このレベルでの教育は1～4年生の「基礎段階」と5～6年生の「オリエンテーション段階」の2つの段階に分けられる。基礎段階では、基本的な読み書きと理数系の知識の習得に重点がおかれる。授業時間の32%が英語、26%が母語、20%が数学の時間に充てられている。残りの22%は、道徳、科学、社会、美術、音楽、そして保健体育となっている。現在、午前と午後の2部制と1部制の初等学校が並存している。

4年生の終わりに学校が独自に定めた基準に基づいてテストが行われ、オリエンテーション段階のための振り分けが行われる。6年生の終わりには、全生徒が初等学校卒業試験（PSLE）を受け、各々の能力に応じた中等学校へ進学する。

教育熱の高いシンガポールでは、子どもをどこの初等学校に通わせるかが親の最大の関心事となる。新1年生は、学校が独自に定めた入学を認める優先順位ごとに登録が行われる。人気校ともなると早い段階で定員の半数が決まり、優先順位からはずれた子どもが申請する段階では定員を上回る数が寄せられ、激しい倍率の抽選となってしまう。抽選では、学校から周囲1～2キロ圏内に住む子弟が最優先となるため、有名校の近所へ家族ごと引っ越すケースもみられる。



授業風景（Northland Primary School）

第2節 中等教育

中等学校は生徒の能力に応じてスペシャル、エクスプレス、ノーマル（普通）、ノーマル（技術）の4つのコースに分けられ4～5年間で卒業する。中等学校は、スペシャルとエクスプレスの2コースを提供するところとエクスプレスとノーマルの2コースを提供するところの2種類に大別される。一般に初等学校卒業試験（PSLE）の成績の上位10%がスペシャル・コース、中位50%がエクスプレス・コース、その他40%がノーマル・コースに進学する。

スペシャル・コースとエクスプレス・コースの生徒は、4年の終わりにシンガポール・ケンブリッジ「普通」教育認定試験（GCE-O）を受け、この試験の成績により卒業後の進学先が定まる。ノーマル・コースはさらに普通コースと技術コースに分けられ、4年の終わりに、シンガポール・ケンブリッジ「標準」教育認定試験（GCE-N）を受け卒業する。ノーマル・コースで進学を希望する生徒は、5年に進級しGCE-O レベル試験に備えることもできる。

カリキュラムは、2年まで各コース共通のもので、3年から各コースのレベルに応じたものとなる。ノーマル・コースはGCE-N レベルを目標とした基礎的レベル、エクスプレス・コースは進学を希望する生徒のためのGCE-O レベルを目標としたカリキュラムとなっている。スペシャル・コースは、エクスプレス・コース同様GCE-O レベルを目標としているが、特に英語と母語に高い能力のある生徒を対象としたカリキュラムが組み立てられており、GCE-O レベル試験において特別のポイントを与えられる科目（上級母語）もある。スペシャル及びエクスプレス・コースの生徒は、英語、母語以外の第三言語としてフランス語、ドイツ語、日本語などの科目も選択できる。

これらのコースのほか、新しい取り組みとして、生徒のさまざまな才能や素質を伸ばすことを目的として2種類の中高一貫教育コースが設けられている。第1は、特に優秀な生徒を対象としたもので、GCE-O レベルを飛ばしていきなりGCE-A レベルの受験ができる統合プログラムコース（Integrated Programme Schools）である。この統合プログラムで学ぶ生徒は、GCE-O レベルの試験に煩わされることなく、時間をかけて創造力やリーダーシップを養う幅広い経験を積むことができる。現在、この統合プログラムは、ナンヤンガールズハイスクールなど7つの学校に導入されている。

第2は、特定の分野に秀でた能力を持つ生徒のための特別独立校（Specialised Independent Schools）である。この学校では、初等学校卒業時に判定された生徒の能力を最大限に伸ばすため、独自のカリキュラムを組んでいる。まず、2004年1月に、生徒のスポーツ能力の伸長を目指したシンガポールスポーツスクールが開校した。次いで、数学と科学を集中的に学ぶNUSハイスクールが、2005年1月に開校している。また、芸術分野に秀でた子どものための学校は、2007年に開校する予定である。



シンガポールスポーツスクール (Singapore Sports School)

第3節 大学準備教育

GCE-O レベル試験を通過した生徒は、2年間のジュニア・カレッジか3年間の教育学院に進学し、シンガポール・ケンブリッジ「上級」教育認定試験 (GCE-A) を目指す。

ジュニア・カレッジの授業内容は、GCE-A レベルの受験を前提に編成され、科学、人文などの分野別コースが設けられている。ここでは中等学校とは異なり、大学受験に必要な専門的知識を習得するとともに、生徒は自主性を求められる。各科目の教官の指導による学習のほか、授業の合間も、図書室、自習室などで自主的に学習する。このほか、政府や民間企業からの奨学金を得て海外を含めた大学への進学を考えている生徒には、GCE-A レベルを越える内容を学ぶ科目を1～2科目選択することが勧められる。

教育学院は、現在2校ある国立の教育機関ではあるが、就学年数が3年間ということもあり、近年、この学校への通学を希望する生徒は減少しつつある。

なお、男性で18歳以上の全ての健康な国民及び永住権保有者は2年または2年半のナショナル・サービス、いわゆる兵役義務に服し、国軍、警察あるいは民間防衛隊のいずれかで勤務することになっている。このため、男子のGCE-A レベル試験合格者には、ナショナル・サービスを終えてから大学に入学する者が多い。



授業風景 (Yishun Junior College)

第4節 専門教育（ポリテクニク等）

ポリテクニク（Polytechnic）は、工業技術や商業に興味のある生徒に、実習室や作業室での実地体験を中心とする教育を提供することで、実業界の需要に合った実務レベルの人材を育成することを目的とする教育機関である。エンジニアリング、商業、会計学、海洋学、マスコミ学、看護学、バイオテクノロジー、科学技術、デジタルメディアデザイン、応用科学、製造デザイン、情報通信などのコースがあり、GCE-O レベルを合格した生徒が進学する。就学年数は3年間である。現在、シンガポール、ニーアン、テマセク、ナンヤン、リパブリックの5校がある。

ポリテクニクのほか、芸術分野の専門校であるナンヤン芸術学院（Nanyang Academy of Fine Arts）とラサール SIA 芸術学院（Lasalle-SIA College of the Arts）がポリテクニクレベルの国立の教育機関である。



ナンヤンポリテクニク (Nanyang Polytechnic)

第5節 大学教育

現在、シンガポール国立大学 (NUS)、ナンヤン工科大学 (NTU)、シンガポール経営管理大学 (SMU) の3つの大学がある。

NUSは、人文・社会科学、法学、経営学、コンピューター学、環境デザイン学、工学、医学、歯科学、科学の9学部 (Faculties/Schools) と関連する13の研究機関を持つ国立総合大学である。マサチューセッツ工科大学との博士課程交換プログラムなど、海外の大学との提携にも積極的である。

NTUは、人文社会科学、ビジネス、生物科学、エンジニアリング、情報通信、物理化学、アートデザインメディアの7学部 (Schools) 及び国立教育研修所 (NIE : National Institute of Education) を持つ国立工科大学である。NTUと早稲田大学は、シンガポールで技術経営 (Management of Technology : MOT) の修士コースを共同開設することで合意し、2006年中に開講する予定である。設置される修士コースは1年間の全日制で、修了者には、NTUの経営学修士 (MBA) と早稲田大学の技術経営学修士の2学位が授与される。

SMUは、2000年8月に開学した経営管理学を専門とする大学である。ビジネスの現場で実際に役立つ教育を提供することを目的に、シンガポール政府により設立されたが、米国ペンシルベニア大学との提携により私立大学として運営されている。

第6節 技能教育

技能教育研修所 (ITE : Institute of Technical Education) は、シンガポール内に10校ある技術専門学校で、シンガポールの職業教育において大きな役割を果たしている。中等

学校の卒業者を対象に全日制の技術訓練と実務訓練を行い各種の資格を取得できるようにしているほか、一般社会人を対象に技術向上のプログラムを提供し、技術向上に関する指導や資格試験を設定、実施している。さらに、様々な理由により学校教育を受ける機会がなかった勤労者を対象に教育を受ける機会を提供している。

第7節 障害児教育

障害児教育を専門にしている特殊学校は20校ある。これらは11の福祉団体 (Voluntary Welfare Organisations : VWOs) が政府から補助金を受けて学校を運営している。VWOs が運営している特殊学校はいずれも初等学校卒業試験 (PSLE) レベルまでの教育を提供する。初等学校卒業試験に合格した生徒は、教育省によって指定された中等学校に進学することができる。中等学校卒業後については、一般の生徒と同じ教育課程となる。

第8節 その他の教育機関

その他教育省が所管しない教育機関として、イスラム教の教義に基づいた独自のカリキュラムをもつイスラム学校や、日本人学校、アメリカンスクールなどのインターナショナルスクールがある。



日本人学校 (小学部チャンギ校)